



【5年「居住地交流」】

外海黒崎小学校区から県立ろう学校に通う児童と交流学习を行いました。

2年生の頃から始まった交流も、今年で4年目を迎え、子どもたちは顔を合わせると、すぐに打ち解けることができました。

国語科「漢字の広場」や算数科「面積」の学習では、互いに協力しながら課題を解決しました。授業中には、自然と役割を振り分けるなど、大事な仲間の一人として楽しく交流することができました。



【4年社会科「わたしたちの住んでいる長崎県」】

社会科の学習では、伝統的な工業が盛んな地域として、波佐見町の焼物について学習しました。

波佐見焼に関する資料をもとに、気づきや疑問を出し合って学習問題を作り、調べる計画を立て、学習を進めました。

波佐見町の特色や町づくりについて学習したことをきっかけに、県内の様々な地域の特色に関心をもち、「他の市町についても調べてみたい！」と意欲的に学習に取り組んでいます。



【4・5年「保健指導」】

身体測定の後、養護教諭より「ストレスマネジメント」についての保健指導を受けました。作文ノートには、「ストレスは人によって違うということが分かった。」「ストレスを感じても、感情任せに行動するのではなく、腹式呼吸で心を落ち着かせたい。」「イライラしても5秒数えて心を落ち着かせたい。」などと振り返っていました。この学習をとおして、自分に合ったコーピング（対処法）を考えることができました。



【4・5年「新リーダーとして…」】

6年生の卒業が間近に迫り、学校では6年生から4・5年生に少しずつリーダーとしての役割を引き継いでいます。

縦割り活動には、掃除の反省会の進行をしたり、6年生とのお別れ会に向けた計画を進めたりしています。低学年の子に大きな負担がかからないように配慮して役割を決めたり、昼休みに声を掛けて一緒に準備をしたりするなど、リーダーにふさわしい一面が見られるようになってきました。